

4 児童の「できた!」「分かった!」の質を高める学習過程の一場面 (1 / 4 時)

教師と児童のやり取りの詳細

学び合う段階において、ならした量を求める式と答えについて、棒グラフや図を用いて考えさせ、平均の求め方と平均の意味を捉えさせていく場面。

まず、 $70+80+95+65+90=400$ をして、次に $400 \div 5 = 80$ をしました。
だから、答えは、80mL になると思います。



〇〇さんは、まず、 $70+80+95+65+90=400$ という式を立てていますが、
この式は、何を表しているのでしょうか？

しばったジュースを合わせた量だと思います。



5 個のジュースの全体の量です。



それぞれの量を、まず、1 つにまとめたということですね。
次に $400 \div 5$ という式がありますが、なぜ、5 で割ったのでしょうか？

合わせたジュースの量を 5 つに等しく分けるからです。



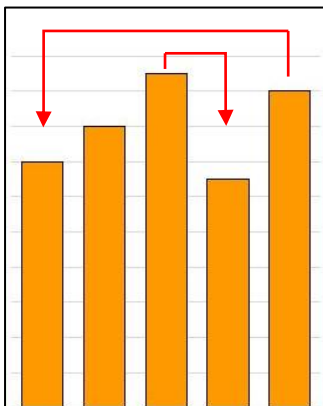
5 つの量それぞれを全て同じ量にするためです。



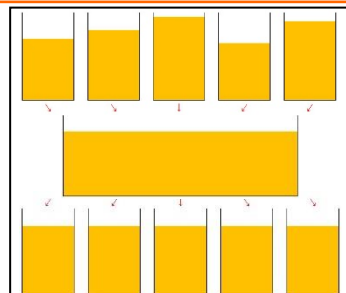
・式に表させたり、答えを求めさせたりするだけでなく、式やそれぞれの数が何を表しているのかを考えさせることが大切です。



5 つに等しく分ける？ 全て同じ量にする？ 今の言葉や式などを
棒グラフや図でいうと、どういうことになりますか？



棒グラフでは、このようにならすと、全て同じ量になりました。
5 つに等しくなっています。



図では、この合わせたジュース
全体を 5 つに等しく分けると、
全て同じ量になります。



・測定した量の合計を求めて、それを個数で等分した結果 (合計 $\div$ 個数) と棒グラフや図を使ってならした結果が等しくなることを関係付けながら捉えさせることで、平均の意味を理解させることにつながります。